

評価対象年度 平成28～29年度

計画に記載している内容	本計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会文化財課歴史まちづくり担当に引き続き事務局を置き、庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を行い、国や県の関係機関と協議して適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条に基づく「甲州市歴史的風致維持向上協議会」において、計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。
-------------	--

教育委員会文化財課が中心となって、関係各課との連絡調整を図り各事業の推進について検討した。

状況を示す写真や資料等



評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
甲州市景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

本市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、本市の景観政策の充実と向上を図ることにより、本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定しており、景観形成のため6つのゾーン区分を設定して、それぞれのゾーンにおける景観形成の方向性を定めている。また、景観形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが甲州市の歴史的風致と重なり、あるいは関係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。

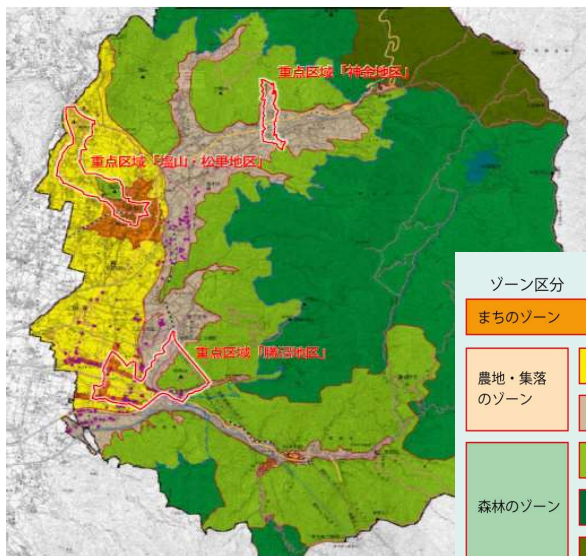
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けた。これにより事業者に対し景観への色彩基準や誘導基準による色の選び方や使い方などの啓発を行い、新築または建て替え物件についてはほぼ100%の理解を得ている。また色彩による景観形成の一環として、本市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自然色ネット等資材購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした(補助率50%)補助事業を実施している。

(平成29年度実績:19件 市補助金額309,432円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■「甲州市景観計画」に掲げたゾーン区分

甲州市景観形成ゾーン区分

ゾーン区分	詳細区分	ゾーンの特徴
まちのゾーン		都市機能や住宅が集積している区域
農地・集落のゾーン	平地農地・集落ゾーン	盆地の平坦部に立地する農地とそこにある集落
	里山農地・集落ゾーン	山裾や小丘の傾斜地に立地する農地とそこにある集落
森林のゾーン	里山森林ゾーン	集落に近く市民のレクリエーションの場になる小丘や山林
	山岳森林ゾーン	集落から離れた自然豊かな山林
	自然公園ゾーン	自然公園法により規制のある区域

汎用的なブルーの防風ネット



補助対象となる自然色の防風ネット



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～平成38年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金		
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の歴史的建造物の保存・活用を図るため、建造物等の買上げや修理・修景などを行い、歴史的景観の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		平成29年度は、修理の要望が無かったため整備事業は未実施であるが、伝建地区内の住民とのコミュニケーションを密にとり、要望が挙がった際には即時事業が進捗できるように準備を進めた。	
状況を示す写真や資料等			

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
重要文化財旧高野家住宅美装化事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成30年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(美しい日本探訪のための文化財建造物活用事業)		
計画に記載している内容	重要文化財旧高野家住宅の美装化事業により、附属屋(巽蔵、文庫蔵)や附指定の建造物(地実棚、裏門)などの外観修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧高野家住宅の附属屋のうち4棟については、外観の経年劣化が著しく、重要文化財として保存・管理を行うため平成28年度から平成30年度までの期間、外装の美装化を実施し、平成29年度事業としては、「文庫蔵」外壁の黒漆喰塗装工事と「地実棚」の茅葺屋根の葺替工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
重要文化財旧高野家住宅文庫蔵美装化工事   【施工前】 【施工後】 重要文化財旧高野家住宅地実棚美装化工事   【施工前】 【施工後】			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
旧宮崎葡萄酒醸造所(宮光園)保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成21年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市近代産業遺産「宮光園」について、これまで主屋、白蔵、離座敷などの修理を終えているが、東三番蔵など未修理の附属屋が残るため、保存修理を行い屋敷構えを整える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
宮光園の保存・修理事業については、主屋、白蔵、文庫蔵・道具蔵・離れ座敷、庭園等の事業が平成27年度までに完成しているが、東三番蔵などの未修理の附属屋が残っており、これらの修理工法や敷地の活用方法などの方向性について検討を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	宮光園については、民間バスツアーの行程に組み込まれることも多くなり、平成29年度の年間観覧者数についても、平成28年度8,316人に対し平成29年度14,644人と前年度の1.76倍となっている。これに伴い、駐車場の確保という新たな課題も出てきた中で、敷地をどのように活用するか早期に方向性を決め、実施につなげていく。		
状況を示す写真や資料等			

保存修理により整備された建物の一例



【 施工前 】

—宮光園白蔵—



【 施工後 】

未修理の建物



【 第一醸造所葡萄酒貯蔵庫 】



【 東三番蔵解体跡 】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
史跡勝沼氏館跡保存整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成36年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業費補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業・史跡等買上げ(直接買上げ)事業)		
計画に記載している内容	史跡勝沼氏館跡について、整備完了後の経年劣化による修理必要箇所や、未発掘用地、未買収用地があるため、計画的に再整備を実施するほか、土地の公有化、発掘調査などを実施し整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡勝沼氏館跡内に設置された東屋の再整備として、屋根葺き替え及び構造補強に係る工事を行った。 勝沼氏館跡の家臣屋敷地と推定される民地の買上げを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

史跡勝沼氏館跡内郭東屋屋根葺き替え工事



【施工前】



【施工後】

史跡勝沼氏館跡公有地化事業



項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
農業基盤整備促進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～平成38年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	狭い農作業道の整備を実施し、農業経営の安定や農作業の効率化を図るとともに、担い手への農地利用集積を促進し、生産組織の育成や強化を推進することで、生産量の向上及び安定を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
基盤整備促進事業(農業基盤整備促進事業)により、「農道上岩崎3号線改良工事」を行い、周辺農耕者の農業効率と生産性の向上を図った。 (平成29年度実績 延長L=122m、工期平成29年9月1日～平成30年2月28日)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
農道上岩崎3号線改良工事    【区間の一部の施工前】 【区間の一部の施工後】			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
甲州市農村ワーキングホリデー事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～平成38年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度で、ブドウやモモ、スモモの栽培にかかる作業やコログキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「農村ワーキングホリデー」事業として、モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図った。 (平成29年度受入実績:計7名、うち宿泊6名、日帰り1名、実施期間4月2日～11月3日) ・「ころ柿ワーキングホリデー」事業として、松里、塩山、奥野田地区の柿の収穫、皮むき、干し作業等のコログキづくりの体験を行った。(平成29年度受入実績:計7名、うち宿泊1名、日帰り6名、実施期間11月3日～11月20日)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「ころ柿ワーキングホリデー」事業



甲州市では、農業に関心がある方や農業に取り組んでみたい方と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度「農村ワーキングホリデー」を毎年実施しています。

今回は、秋から冬にかけての甲州市の名物「ころ柿づくり」にスポットを当てたワーキングホリデーを計画しましたので、ぜひ参加ください。

まずは事務局までお気軽にお問い合わせください。農業に関心のある、あなたからの連絡を心からお待ちしております。

お問い合わせ

〒404-8503
 山梨県甲州市塩山1-1
 甲州市役所農業振興課

電話: 0553-321-5002
 FAX: 0553-321-5174
 Eメール: sangrocity.koshi.jp

◆県民生活・山梨県甲州市へお問い合わせ下さい。
 皆様のご参加を、心からお待ちしております。

「農村ワーキングホリデー」は、観光型の体験事業ではありません。
 農家に農作業や農家の生活を体験してみたい方向けのプログラムです。

《ころ柿づくりワーキングホリデーの概要》

期 間	●平成29年11月3日から平成29年11月20日
作業内容	●柿の収穫・皮むき・干し作業等の農作業
参加資格	●農業に関心をお持ちで、実際に農業を体験してみたい方 ●小さなお子さんを連れてのご参加は、ご遠慮ください
費用負担	●往復の交通費は、参加者の負担となります。 【受入農家が食事を提供しますので、参加者の負担はありません】
その他	●原則、日帰りとなります。 ●受入農家の数によっては、農家をご紹介できない場合もありますがご了承ください。 ●お申し込みをいただいた方に、連絡を取らせていただきます。

ころ柿づくりワーキングホリデー：参加者申込用紙

【事務局・申込先】

〒404-8501 甲州市塩山1-1 1005-1
 甲州市役所 農業振興課 県民農林担当 電話0553-32-5002
 Mail: sangrocity.koshi.jp

FAX: 0553-32-5174

ふりがな	参加希望者氏名	年 齢	性 別	男・女
住 所	〒			
連絡先	TEL: FAX: 携 帯:		mail:	
これまでの農作業体験 ワーキングホリデー の参加経験等	参 加 希望日	第1希望	第2希望	
希望作業等				
その他特記事項 (食物アレルギー等の 有無等)				

※ボランティア保険等(住所別の社会福祉協議会で加入できます。)に必ず加入してください。
 ※運転免許証、ボランティア保険加入者の写真を出してください。
 ※グループ等で参加される場合は、参加者毎に認奨し提出をお願いします。



【農作業体験の様子】

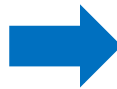
		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
於曽屋敷環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～平成38年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	於曽屋敷は中世豪族の屋敷跡で、これを公有化し整備するとともに、周辺に駐車場やトイレなどの公益施設を配置し、公園として利活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「於曽屋敷」に隣接し、甲州市の都市公園である「於曽公園」については、「甲州市都市公園バリアフリー化に伴う整備事業」として、都市公園による安心・安全の確保と地域における災害対応力の向上を目標に、社会資本整備総合交付金(防災・安全対策)を利用した隣接民地の公有地化による拡張を行い、平成29年度には、老朽化したトイレの代わりに、新たに多機能トイレを設置して利便性向上を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

甲州市都市公園バリアフリー化に伴う整備事業



【新規公有化用地 843㎡】



【新設トイレ及び周辺整備】

— 於曽公園新設トイレ —

延床面積 A=17.15㎡

棟数 N=1棟

構造 鉄筋コンクリート一部木造



【H29年9月8日 完成】

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～平成33年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、駐車場やトイレなどの公益施設の整備を行い、地区内の環境を整える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	計画にあたり、地区内の土地所有者との交渉が難航した。今後は甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業と併せて、伝建地区内での住民との密なコミュニケーションを取りながら、住民要望を押さえつつ計画を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況			
市内伝統芸能・祭典継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成29年度～平成33年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供するとともに、補助金を交付するなどの支援を図る。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
平成29年度は、市内5つの団体に補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	担い手の高齢化等もあり、積極的に魅力ある伝統芸能の継承のため若者に啓発を行っている。					
状況を示す写真や資料等						

甲州市の継承すべき伝統芸能・祭典



藤木道祖神祭太鼓乗り(甲州市指定 無形民俗文化財)



熊野神社御幸行列(甲州市指定 無形民俗文化財)



田野十二神楽(山梨県指定 無形民俗文化財)



一之瀬高橋の春駒(山梨県指定 無形民俗文化財)

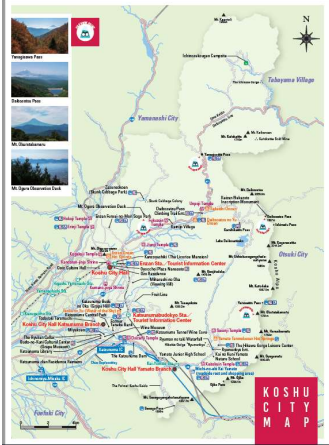


柏尾の藤切祭(山梨県指定 無形民俗文化財)

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史文化の発信事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～平成33年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市を訪れる観光客が、甲州市に点在する歴史的建造物や名所・旧跡を見学しやすいように、案内板や説明板、誘導標識などの公共サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本市の歴史的風致は、視覚的な解説がなくとも理解できるものもあるが、散策を主とする外国人観光客には、容易に理解できない文化遺産も多く、歴史的風致が正しく理解されないことが予想される。このため本市を観光散策の際、歴史的風致を正しく理解して、楽しみながら散策を行えるように「歴史的風致活用国際観光支援事業」を活用した外国語版のマップを作成し、駅など観光拠点に配置した。マップ内にはQRコードを記載し、スマートフォンから観光施設、歴史施設などのwebを通じて解説を行い、設置スペースや予算を取る案内板や説明板などの公共サインをスマートフォンで代替できるようなコンテンツの作成を行った。(平成29年度実績:英語、フランス語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語の5ヶ国語を各 5,000部作成)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		スマートフォン等を持っていない、または活用していない観光客のために、必要な所に公共サインを設置していく。	

状況を示す写真や資料等

甲州市外国語観光マップ 抜粋

Learn the history of Kosho City which developed along with its wine.



The history of Kosho City is deeply rooted in its long history of grape growing. The city is known for its high-quality grapes, which are used to produce world-class wine. The city's history is also reflected in its architecture and culture.

A tour around the wineries of Kosho City




Getting around Kosho City is even easier with your smartphone.

Kosho City Sightseeing with AIRTAG

AIRTAG provides virtual display of information overlapping the actual scene you are seeing. They display your current location along with the distance and direction to your desired sightseeing spot in an easy to understand way. Also, you can get detailed information about your chosen spot and it can also work with route guidance functions for extra convenience.

Go to the Website

<http://www.kosho-city.jp>

STEP 1 Select language

The illustration on the screen right of the screen to select the language.

STEP 2 Download application

Press download the application "Kosho City".

STEP 3 Tap the app icon

After installing the app, tap the app icon to display the application.

STEP 4 Get information!

Search your desired information, tap, and the app will display detailed information on the screen.

EVENT INFORMATION

Fuji Bonjin Festival Drum Ride

Holding time: Jan. 1st
Holding place: Fujinaka Park

This event is a performance of drumming by the Fujinaka Park. It is a traditional festival that has been held for many years.

Bull Decoration, Peach Blossom Festival

Holding time: Feb. 1st to 10th
Holding place: Katsunuma Park

This festival is a celebration of the bull and the peach blossom. It is a traditional festival that has been held for many years.

Takao Katsunuma Festival

Holding time: The 1st Sunday of October
Holding place: Katsunuma Park

This festival is a celebration of the Takao and Katsunuma. It is a traditional festival that has been held for many years.

The Winery's Getting Festival at Gaisang Temple

Holding time: May 1st
Holding place: Gaisang Temple

This festival is a celebration of the winery's. It is a traditional festival that has been held for many years.

Katsunuma Grape Festival

Holding time: The 1st Sunday of October
Holding place: Katsunuma Park

This festival is a celebration of the grape. It is a traditional festival that has been held for many years.

Kosho Fruit Marathon

Holding time: The 1st Sunday of October
Holding place: Katsunuma Park

This marathon is a celebration of the fruit. It is a traditional festival that has been held for many years.

Oyechai Festival

Holding time: The 1st Sunday of October
Holding place: Katsunuma Park

This festival is a celebration of the oyechai. It is a traditional festival that has been held for many years.

概略や見どころのみを掲載している。観光、歴史についての詳細な説明については、汎用的なQRコードの利用により、スマートフォンから情報サイトへの誘導して外国語で説明を行う。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史的風致散策・景観形成協働事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成33年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	甲州市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、各歴史的風致の散策会を定期的に開催するほか、散策で気付いた点について、市民などと協働して、農業用ネットの交換やガードレールの景観色塗装など、景観形成協働事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度は、5回現地散策を実施した。歴史的風致の解説を加えながら現地を散策することにより、地域が培ってきた歴史や文化、それによって形成されてきた集落や町並みへの理解を深めることができたと思われる。周知とともに、参加者の方々から貴重なご意見をいただくことができた。勝沼・大和地区においては、山梨大学生命環境学部観光まちづくり研究室との共同企画として開催した。また、景観形成の一環として、市民との協働によりガードレール等の景観色への塗り替えを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

歴史的風致散策



【第9回塩山地区(H29.4.16)】



【第10回勝沼地区(H29.6.25)】



【第11回大和地区(H29.8.20)】



【第12回塩山地区(H29.12.17)】



【第13回勝沼地区(H30.3.25)】



【第13回歴史的風致散策 チラシ】

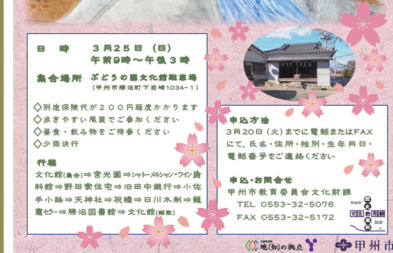
景観形成協働事業



【施工前】



【施工後】



【第13回歴史的風致散策 チラシ】

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
文化財の保存又は活用の現状と今後の方針			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市には、平成29年(2017)3月の計画認定時点で国指定文化財29件(うち、国宝3件)、山梨県指定文化財82件、甲州市指定文化財155件の、合計266件の有形・無形の文化財が所在している。 これらの指定文化財は、文化財保護法や山梨県文化財保護条例、甲州市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引き続き保護のための措置を講ずる。その一方で、指定されていない歴史的・文化的価値を有する未指定文化財も数多く所在し、本市の歴史的風致の維持向上を図るうえでも、これらの未指定文化財も保存・活用を図ることが重要である。 文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解するうえで必要不可欠なものであるため、調査を行い、価値が判明したものについては市指定や国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備や防災対策等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。平成29年度は、市内で新たに8件の建造物が登録有形文化財(建造物)に登録され、文化財保存環境の整備を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
平成29年度に新規登録された甲州市内の登録有形文化財(建造物)			
 【原茂ワイン店舗兼主屋 外観】 原茂ワイン 店舗兼主屋 木造2階建、切妻造り葺き瓦葺き屋根越屋根付き 建築年代: 明治12年 改築年代: 平成17年 原茂ワイン 奥蔵 土蔵造、瓦葺き屋根 建築年代: 昭和前期 原茂ワイン 西蔵 土蔵造、瓦葺き屋根 建築年代: 江戸末期頃 文化財の所在地: 甲州市勝沼町勝沼勝沼小佐手小路3181-1			
 【萩原家住宅 全景(敷地北より)】 萩原家住宅 東店舗兼主屋 木造2階建、切妻造り鉄板瓦葺き屋根 建築年代: 江戸末期頃 改修年代: 昭和45年 萩原家住宅 東蔵 土蔵造、瓦葺き屋根 建築年代: 明治中期頃 萩原家住宅 西店舗 木造2階、切妻瓦葺き屋根 建築年代: 江戸末期頃 改修年代: 平成24年 萩原家住宅 西座敷 木造平屋、切妻瓦葺き屋根 建築年代: 江戸末期頃 萩原家住宅 西蔵 土蔵造、瓦葺き屋根 建築年代: 明治13年 文化財の所在地: 甲州市勝沼町勝沼勝沼字中町3150番地～3150番地4			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。当該施設としては、重要文化財旧高野家住宅、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めているところである。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 市が管理する文化財施設については、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつつ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。また旧高野家住宅においては、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館(塩山図書館分館)を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財として活用をされている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 【旧高野家住宅(甘草屋敷)】 重要文化財 旧高野家住宅(甘草屋敷) 平成29年 2月11日～4月18日 第15回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり 4月15日 浪曲「鉢かつぎ姫」公演 7月 8日 気軽に落語を楽しむ会 8月26日 二胡サマーライブ 平成30年 2月11日～4月18日 第16回塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり 3月23日 ひな飾りと春の宴コンサート  【塩山桃源郷ひな飾りと桃の花まつり】  【子ども図書館利用者の様子】   【旧宮崎葡萄酒醸造場施設(宮光園)】 近代産業遺産 宮光園 平成29年 4月22日 宮光園コンサート「le concert」 8月25日～9月30日 勝沼ワイン140周年記念資料展示 11月3日～6日 「ハレの日祝う ちりめん細工」展   【宮光園コンサート「le concert」】【「ハレの日祝うちりめん細工」展】			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑とワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブドウ畑の景観を残すこととする。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 「勝沼のブドウ畑とワイナリー群」文化的景観調査は山梨大学との共同研究として、平成28年度から平成30年度までの3年でおこない、山梨県内初の重要文化的景観選定を目指す。平成29年度は、ブドウとワインに関わる景観調査を山梨大学、建物調査を工学院大学に委託し、調査を実施した。調査を進めるにあたり文化的景観調査委員会を2回開催し、方針の検討を行った。また、普及啓発として、「勝沼のブドウ畑とワイナリー」文化的景観パンフレットの刊行及び現地散策会を開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「勝沼のブドウ畑とワイナリー」文化的景観パンフレット 抜粋



現地調査



【土地利用(農地・石垣)】



【ブドウ畑の石垣実測調査】



【勝沼宿宿屋調査】

甲州市文化的景観調査委員



平成29年5月10日第3回文化的景観調査委員会
 平成30年2月21日第4回文化的景観調査委員会

現地散策



第10回歴史的風致散策
 勝沼の文化的景観を五感を通して歩く



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の防災に関する具体的な計画		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	重点区域「神金地区」にある甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物の多くは木造であり、傾斜地を造成して宅地としていることから、地震や火災が発生すると倒壊や火災の延焼などにより、被害が保存地区の広い範囲に及ぶことが予想される。そのため、所有者や上条組、地元消防団などと協議を行い、自主防災組織を強化するとともに、今後策定する防災計画に基づき、必要な防災施設の整備等を実施する。また、所有者等と協議して、個々の伝統的建造物に対して耐震補強を行うなどの取り組みを行う。さらに、歴史的景観に配慮しつつ防犯灯を整備し、防犯対策や美術工芸品等の有形文化財が盗難に遭わないよう、地区の意識啓発に努めていく。
-------------	---

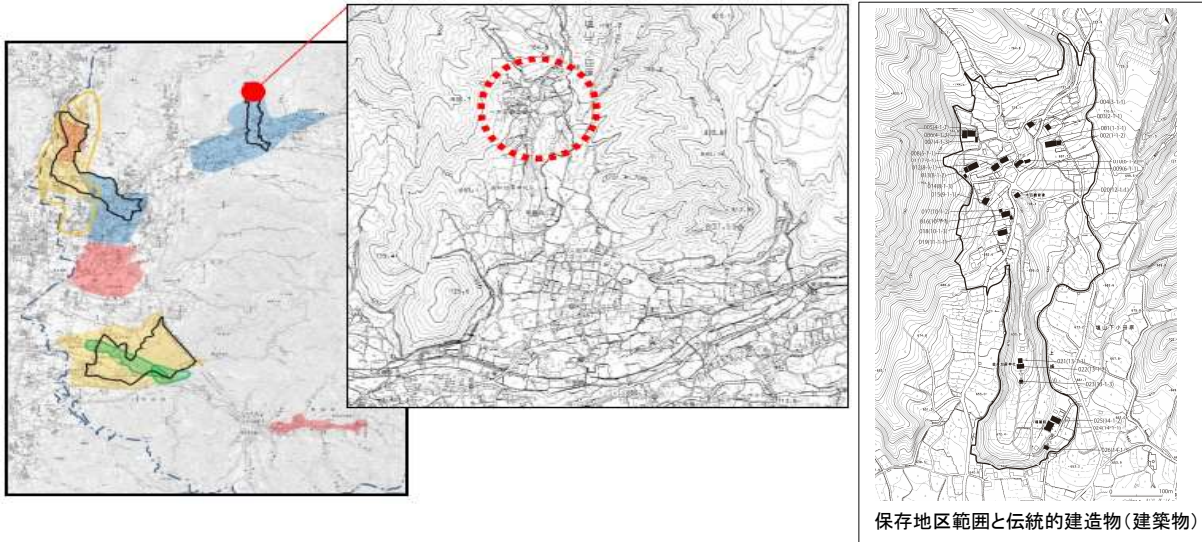
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は、防災計画策定に向けて昨年度に引き続き調査を委託している工学院大学による現地調査を行い、調査結果の取りまとめ状況を甲州市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催して報告、審議を行った。平成30年度には調査報告書を刊行して防災計画策定の資料とする。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査に一部不足がみられたことと、防災計画の要となる公営水道の事業遅延により、本年度は計画上の調査取りまとめまでの段階となり、報告書刊行まで至らなかった。防災計画策定は来年度以降とし、以後は計画に基づき防災事業を実施する。

状況を示す写真や資料等

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区 位置図



上条伝建地区は、標高が700mほどの山間の集落で、水道は集落で引いた小規模水道を使用しており、大きな河川もないため、防災用の水源確保が難しい。



【避難経路の調査】



【ヒアリング調査】

【甲州市伝統的建造物群
保存地区保存審議会(H30.3.5)】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲州市が歴史的風致維持向上計画の策定により、歴まち都市に認定されたことによって市民の歴史的風致を活かしたまちづくりへの関心が向上した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後の引き続き、歴史的風致理解を深める関心を高めるためメディアへの情報提供や独自の情報発信を推進する。

[illegible]

【山梨日日新聞 平成29年8月4日掲載】

**小正月に備え
「オコヤ」作り**

甲州上条藩
国最古の歴史建物群
雪隠(便所)について
甲州市境山小田原の上
にある藩客の住民らは6日、小
正月前の「オコヤ」を作る
た。

オコヤは勘定取れた手
オコヤは口福体い、び

や竹で造った炭のよう
な形をしたので、14日行
われ金組祭りのとき焼
き付けてやる。6日地区
住民20人初早朝から二
り缶で初そそぐとなき
竹をさしめぬき、里合ふ
た。お節時がけと高防ち
ほとのオコヤを完成させ

ん焼き燃やす。村池
入灯は、聖蹟下元宮
なやうどの気持ちを込
てと結すとい。

「オコヤ」を作る地元
山有る甲州市境山小田原

【山梨日日新聞 平成30年1月7日掲載】

運ぶために使われていた大きな車を紹介した。

イベントは「歴史的風致整頓策」をテーマに、2010年10月13日から定期的に開催し、今回も13回。



ワイン醸造の歴史
伝える史跡を巡る

甲州市勝沼町で30人
甲州市教委などは26日、市内文化財や史跡を巡る財閥博物館を開設した。

市外から約30人が参加。同市勝沼町下岩崎のぶどうの国文館を出発し、旧勝沼町内にある宮公園やシャトー・リシャン、ワイン資料館、知橋など13カ所を巡り、同文化館に戻る約7.5キロのコースを生徒1人1車具。市教委文化財担当の記者が講師を務め、明治時代のワイン醸造の方法や、知橋がワインやドブウを

【山梨日日新聞 平成30年3月26日掲載】

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目		評価対象年度	平成29年度
歴史的風致に対する認識向上と情報発信に関する課題			
計画に記載している内容	本市の維持向上すべき歴史的風致は、本市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、本市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
JR東日本との良好な関係を示すように、平成29年には豪華寝台列車「TRAIN SUITE四季島」が本市のJR塩山駅へ立ち寄るルートが設定され、さらに甲州市近代産業遺産宮光園が見学地に選定され、四季島の乗客に宮光園の素晴らしさと勝沼のワインの歴史を周知お知らせするとともに、甲州市の文化財や地域の魅力、観光についてパンフレット配布等により普及・啓発を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	宮光園は、豊かで上質な旅時間の提供をコンセプトとした「TRAIN SUITE四季島」の見学地に選定されたことや、ワイン140周年記念などのイベント開催により大幅に入館者数を伸ばした。これを宮光園だけの効果に留まらせないためにも、他の文化・観光施設や固有の資源・サービスを連携させ、さらなる情報発信の方法を検討する。		
状況を示す写真や資料等			

甲州市近代産業遺産宮光園施設利用状況

27年度			28年度			29年度		
開館日数	入館者数	日平均	開館日数	入館者数	日平均	開館日数	入館者数	日平均
26	433	16.7	26	409	15.7	26	787	30.3
27	423	15.7	26	658	25.3	26	964	37.1
26	2,586	99.5	26	330	12.7	26	881	33.9
27	314	11.6	27	578	21.4	29	712	24.6
27	657	24.3	27	579	21.4	26	1,246	47.9
25	922	36.9	26	937	36.0	26	1,478	56.8
29	970	33.4	28	2,068	73.9	28	2,825	100.9
26	536	20.6	25	1,240	49.6	27	2,829	104.8
23	80	3.5	23	387	16.8	23	511	22.2
23	356	15.5	23	244	10.6	23	421	18.3
25	184	7.4	24	297	12.4	24	1,028	42.8
26	378	14.5	27	589	21.8	27	962	35.6
310	7,839	25.3	308	8,316	27.0	311	14,644	47.1

「TRAIN SUITE四季島」山梨県内に初停車の記事
(平成29年5月7日 山梨日日新聞)

「ようこそ四季島」塩山駅に500人

オンスが流れると、集まった人が一斉にカメラやスマートフォンを準備。午前11時50分、シャパンゴールの高級感のある10両編成の列車が降り込むと、シャッター音が響き渡った。

乗客500人は同市などを観光するため下車。同駅ロタリー付近で地元住民による和太鼓の演奏、武田信玄ら戦国武将に扮した県民有志らによる勝どきの歓迎を受けた。一行は富士山山梨バスの豪華貸し切りバスで、近代化産業遺産でかつてのワイン醸造所「宮光園」(旧塩路葡萄酒醸造所)を回った。午後4時半ごろ、同駅から長野県の停車場に向けて出発した。

同列車は客室以外に展覧車両などがある。塩山駅は上野駅を基点とし、山梨、長野、福島を巡る「泊白コース」の停車駅の一つ。

乗客を出迎えた同市観光協会の保坂一久会長は「乗客がまた来たいと思えるおもてなしを続けたい」と話した。駅近くで土産物屋を営む鈴木幸三さんは「駅に人があふれたのは久しぶり。停車する度にこのにぎわいが嬉しい」と期待した。(小池直輝)

評価対象年度	平成28年度～平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 甲州市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時： 平成30年 3月5日(月)午後1時30分から3時30分	
(コメントの概要)	
■評価軸③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 ・甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、修理・修景等のハード事業の補助は国から交付されるが、資料展示等のソフト事業では補助を受けるのが難しく、「上条を活性化する会」が事業主体になれば、芸術文化振興基金等が助成されるので、それらの活用について行政が補助する必要がある。 ・甲州市近代産業遺産「宮光園」は観覧者も増えており、未修理の附属屋について早急な工法や活用方法の検討が必要である。 ・歴史的風致計画策定後も、まだ庁内での連携の弱さがみられるので、各課で持つ事業を綿密に協議して、全体事業の進捗するため連携を深めて欲しい。 ■評価軸④文化財の保存又は活用に関する事項 ・歴史的風致散策は、多くの人が参加されているが、市外の参加者も多く、歴史的風致を維持していくべき市民に、より多くの情報発信と啓発が必要である。 ・登録文化財の制度の活用には力を入れているようだが、重点区域内の建造物についても、所有者は市に対して歴史的風致形成建造物指定の申請が行える制度があるので、候補となりえそうな建造物をリストアップしておく必要がある。 ・他自治体では歴史的風致形成建造物を再生しコーヒーチェーン店や宿泊施設として活用している事例があり、政府も古民家再生に対して、ファンドを設立して支援する取り組みを始めているが、本市でも関係部署と連携をして検討の必要がある。 ・文化的景観の取組に対して、市民への周知不足が懸念されるので、市民ワーキンググループなどを組織して、意見を交わせるような場を設けて欲しい。 ・甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区の防災計画には水源確保が不可欠なので、関係課と協議を進める必要がある。	
(今後の対応方針)	
・いずれの意見に対しても、甲州市として庁内連携と熟慮を重ねた協議が必要であり、それぞれの課題に方向性を見出していく。 ・市民参画や協働の部分には、今後もより力を入れてより良い歴史まちづくりを進めていきたい。	